

G7伊勢志摩サミット及び各閣僚会合に おける震災復興広報

平成28年10月7日
復興庁

G7伊勢志摩サミット及び各閣僚会合における 震災復興広報

本年、我が国がG7議長国であることから、各省の御協力を頂き、G7伊勢志摩サミット及び全ての閣僚会合において、

- (1) 海外からの支援に対するお礼
- (2) 復興の進捗状況
- (3) 風評対策（食の安全等）

を内容とする以下のような震災復興広報を実施。

- －パネル及び動画展示、パンフレット配布
 - －復興庁政務のスピーチや挨拶
 - －被災3県の食品配布、レセプション等における食材提供
 - －被災地訪問
- また、いくつかの会合では、成果文書の中で復興に関連した言及あり。



財務大臣
・中央銀行総裁会議
歓迎レセプション



環境大臣会合でのパンフ配布

◎各国に改めて謝意を表すると共に、震災復興の状況、特に我が国の食の安全に関する取組や被災地の魅力（観光、食）について理解して頂く契機になったと評価。

G 7 閣僚会合の成果文書における震災復興関連記述の例

外務大臣会合（不拡散及び軍縮に関するG 7 声明）（4/10-11）

我々は、過去5年間の、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策の着実な進展を歓迎する。我々は、世界中で高水準の原子力安全を達成及び維持することの重要性を確認する。我々は、IAEA原子力安全行動計画の実施及びIAEAによる福島第一原子力発電所事故に関する報告書を含む、福島第一原子力発電所事故以降に国際社会が達成した原子力安全に関する取組及びこれにおけるIAEAの役割を認識し、世界中で最高水準の原子力安全を確保するための努力を継続し、IAEAを支援するとのコミットを再確認する。

農業大臣会合（新潟宣言）（4/23-24）

我々は、2011年に発生した東日本大震災からの復興に向けた5年間にわたる日本の取組に注目するとともに、復興を加速するための世界中からの支援について称賛する。我々は、輸入規制が、科学的知見と根拠に基づくSPS合意を含むWTOルールと調和的であるべきことを確認する。我々は、これらのルール及び合意を尊重することにコミットする。我々は、被災地の復興が一日も早く達成されることを期待する。

エネルギー大臣会合（G7エネルギー大臣会合共同声明）（5/1-2）

国際原子力機関（IAEA）が福島第一原子力発電所の過去5年に亘る状況の改善について報告したことに留意し、我々は、同発電所の廃炉・汚染水対策が着実に進展していることを歓迎する。我々は、福島に関する正確な国際的理解を高めるため、日本が継続的に放射能汚染及び空間線量を調査し、科学に基づく情報を発信していること、また、同国が国際社会と緊密にコミュニケーションしつつオープンかつ透明な形で進めるよう努力していることを歓迎する。

環境大臣会合（環境大臣会合コミュニケ）5/15-16

東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故により被災した地域における環境回復及び復興の進展の現状を説明。日本は、進展中の除染に関する情報と、それが一部地域における避難指示の解除及び地域経済の再生に貢献していることについて説明し、その他のG 7 環境大臣及びEU代表はその報告及び日本の取組を歓迎。

伊勢志摩サミット（G 7 伊勢志摩首脳宣言）5/26-27

我々は、福島第一原子力発電所における廃炉及び汚染水対策の着実な進展、並びに福島に関する国際社会の正確な理解の形成に向けて、国際社会と緊密なコミュニケーションの下でオープンかつ透明性をもって日本の取組が進められていることを歓迎する。

【参考：G7首脳及び閣僚関連会合】

- 4 / 10 - 11 外務大臣会合（広島県広島市）
4 / 23 - 24 農業大臣会合（新潟県新潟市）
4 / 29 - 30 情報通信大臣会合（香川県高松市）
- 5 / 1 - 2 エネルギー大臣会合（福岡県北九州市）
5 / 14 - 15 教育大臣会合（岡山県倉敷市）
5 / 15 - 16 環境大臣会合（富山県富山市）
5 / 15 - 17 科学技術大臣会合（茨城県つくば市）
5 / 20 - 21 財務大臣・中央銀行総裁会議（宮城県仙台市）
5 / 26 - 27 伊勢志摩サミット（三重県志摩市）
- 9 / 11 - 12 保健大臣会合（兵庫県神戸市）
9 / 24 - 25 交通大臣会合（長野県軽井沢町）



交通大臣会合での各国代表団への説明風景



環境大臣会合の復興ブース



情報通信大臣会合でのコーヒーブレイク
(被災三県の銘菓を提供)



財務大臣・中央銀行総裁会合
(夏いちご(福島)を使ったイチゴミルク)